

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【公表番号】特表 2001-527480 (P2001-527480A)

【公表日】平成 13 年 12 月 25 日 (2001.12.25)

【出願番号】特願 平 10-548668

【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 R 19/48

【 F I 】

B 6 0 R 19/48

B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 16 日 (2005.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 17 年 3 月 16 日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成 10 年 特許願 第 548668 号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ローベルト ボツシュ ゲゼルシャフト ミット ベシュレ
ンクテル ハフツング

3. 代理人

住 所 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
新丸の内センタービルディング
ゾンデルホフ&アインゼル法律特許事務所
電話 03(5220)6500(代表)

氏 名 (6181) 弁理士 矢 野 敏 雄



4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正の対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容

別紙の通り



請 求 の 範 囲

1. 自動車のバンパと、該バンパに組み込むためのモジュールと、該モジュールをバンパに固定するための保持部分とを有している装置であって、該保持部分（３）がバンパ（１）の内側に取り付けられていて、前記保持部分（３）はモジュール（６）を収容するために、モジュール（６）の頭部（７）が組み付け後に、隣接するバンパ（１）の外面とほぼ同一平面に配置されるように形成されている形式のものにおいて、
モジュール（６）が、バンパ（１）の内側から保持部分（３）内に挿入できるように形成されていることを特徴とする、自動車のバンパに組み込むためのモジュールを備えた装置。
2. 保持部分（３）が有利には、接着、吹き付け結合、溶接またはねじ締結によってバンパ（１）に不動に結合されている、請求項１記載の装置。
3. 保持部分（３）が、モジュール（６）を解離可能に固定するためのクリップ装置（４，５）を有している、請求項１又は２記載の装置。
4. モジュール（６）が、バンパ（１）に設けられた孔（２）に挿入可能な頭部（７）を有している、請求項１から３までのいずれか１項記載の装置。
5. 孔（２）が頭部（７）とともに、所定の幅の隙間（８）を形成する、請求項４記載の装置。
6. モジュール（６）が距離を測定するための超音波センサである、請求項１から５までのいずれか１項記載の装置。
7. モジュール（６）が少なくとも部分的にバンパ（１）の色で形成されている、請求項１から６までのいずれか１項記載の装置。